



香港民主活動家 周庭氏の逮捕に抗議する（党声明）

令和2年8月11日

幸福実現党

香港の民主活動家で、「雨傘革命」のリーダーでもあった周庭（アグネス・チョウ）氏が、「香港国家安全維持法」違反の容疑で逮捕されました。幸福実現党は、これについて断固抗議すると共に、同氏の即時釈放を求めます。

周氏は民主派政治団体の香港衆志（デモシスト）解散後は主だった活動をしておらず、違反容疑の詳細は明らかになっていません。それにも関わらず、最高刑を終身刑とする同法違反容疑の逮捕が安易に行われたことは恐るべき暴挙です。

こうしたことから、中国当局が同法の制定を急いだ理由が、民主活動家たちの狙いうちにあったことが明らかになったといえます。

さらに10日は周氏以外にも、中国共産党に批判的な論調で知られる香港大手紙「蘋果日報（アップルデイリー）」の創業者の黎智英（ジミー・ライ）氏をはじめ、民主派メディア関係者が多数逮捕されました。一連の民主活動家らの逮捕の背景には、同じく10日にアザー米厚生長官が台湾を訪問し、蔡英文総統と会談したことに対する、中国からアメリカへのけん制の意図があることは間違いありません。

こうした中国の横暴を、日本やアメリカをはじめ「自由・民主・信仰」を普遍的な価値として認める国々は決して容認すべきではありません。

今こそ日本は、ひとり自国の平和のみならず、世界の平和と繁栄をもたらす地球的正義を打ち立てる、世界のリーダー国家を目指すべきです。

法律は本来、人間の自由を確保するためにあるはずですが、しかし「国家安全維持法」は、「法の下での自由」の考え方に反しており、中国政府は人々の自由を縛るために法律を行使しています。中国は自国を法治国家だと主張しますが、民主主義が機能していない国家における立法は、独裁者の権力を増し、全体主義的な体制を強化するだけです。

わが党は、日本政府がアメリカやイギリスをはじめ、自由主義国と連携して同法の撤回に向けて圧力をかけるとともに、現時点では過度な適用をしないよう声を上げることを求めます。

以上